

研究結果報告書

拙論「『常陸国風土記』文体特徴与漢文佛經——語体句式考辨」は、従来触れられていない文体を、漢訳仏典との関連性から佛教語・口頭語・新語と四文字成語に分けて論じたもの。

「『和習』問題研究的瓶頸与突破--兼論佛經文体对日本上古典文学的影響」では、通説では和習的な表現だと誤認されている『日本書紀』の語法を、漢訳仏典の文体によるものだと論証した上で、和習問題の研究の視野を漢訳仏典という特別な文体にも向ける必要性のあることを喚起した。

「突破漢字固有表現的重囲——從『古事記』序文中的“切蛇”説起」ではなぜ『古事記』序文では佐之男命の大蛇退治を、漢籍と仏典の「斬蛇」ではなく、「切蛇」の二字で記さなければならない太安万侶の用字意識を問題とし、それは漢籍と仏典とも異なる大和民族の伝説を残そうとする太安万侶の漢字固有表現の突破を図ったからだ」と指摘した。

「突破漢字固有表現的重囲——從『古事記』序文説起」では、さらに『古事記』序文の字固有表現の突破の意識を、従来と異なって佛教語・口頭語と言語創造の面から明らかにした。

「芋環型説話の表現素材の変容とその源流」では中日韓の三カ国に流行っていた芋環伝説に秘められている掛詞的な表現を、本草学の角度から解明を試みた。

「『日本書紀』与漢文佛經文体的比較研究」は『日本書紀』における四文字語句の出典を、具体的な内容に沿いつつ漢訳仏典に求めた。

「『日本書紀』の文体と漢訳仏典——話し言葉としての句式を中心に」では新たに発掘された口語性のある四文字語句の受容を手がかりに、漢訳仏典の影響を指摘し、その文章表現史の意義を提起した。

拙著『日本上代文学<和習>問題研究』は荻生徂徠のマイナ斯的な和習論とは反対に、『古事記』『日本書紀』『懷風藻』『万葉集』『風土記』という五つの作品を例に、和習こそ上代びとの独自性と創造性をみごとに示したものだ」と体系的に論述したものである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

一 参加済み

- (1) 「『常陸国風土記』文体特徴与漢文佛經——語体句式考辨」
(「世界日本学研究的趨勢与合作」、2010年10月17日、北京外国大学日本学研究センター)
- (2) 「『日本書紀』の文体と漢訳仏典——話し言葉としての句式を中心に」
(『第2回中日韓言語文化比較研究国際シンポジウム』、
2011年8月22日、延辺大学外国語学院)
- (3) 「『古事記』における漢字固有表現の突破——異字同訓を中心に」
(「東亞中の日本文学：訓読、翻案与翻訳」、2011年10月15日、北京師範大学外文系)
- (4) 「『杜家立成』における俗語の世界とその影響」
(「日本文学中的中国題材研究」、2012年2月25日、中国人民大学外国語学院日語系)

二 参加予定

- (5) 「奈良朝佛經写本題記研究」(「東亞文学及文化交流」、2012年9月8日、南開大学外国語学院)
- (6) 「『日本書紀』と漢訳仏典の比較研究——表現を中心に」
(「第十三届日本文学年会暨学术研讨会」、2012年8月18日、兰州大学)

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

一 独著

- (1) 「『常陸国風土記』文体特徴与漢文佛經——語体句式考辨」
(馬駿、『日語學習与研究』、2011年4月)
- (2) 「『和習』問題研究的瓶頸与突破--兼論佛經文体对日本上古文学的影響」
(馬駿、『日語學習与研究』、2011年12月)
- (3) 「突破漢字固有表現的重圍——從『古事記』序文中的“切蛇”說起」
(馬駿、『文史知識』、2012年2月)
- (4) 「日本上代文学『和習』問題研究」
(馬駿、『国家哲学社会科学成果文庫概要』、中国人民大学出版社、2012年3月)
- (5) 「突破漢字固有表現的重圍——從『古事記』序文說起」
(馬駿、『日語學習与研究』、2012年4月)
- (6) 「芋環型說話の表現素材の変容とその源流」
(馬駿、小峯和明編『東アジアの今昔物語集』、勉誠出版社、2012年6月)

二 合著

- (7) 「外語研究生教育中的“複合式教学法”探索——日本古代文学教学模式構建」
(黃美華・馬駿、『現代傳播』、2011年4月20日)
- (8) 「『懷風藻』詩歌与六朝初唐詩文の対句考釈」
(黃美華・馬駿、『亜非語語言文学研究』、2011年8月、中国伝媒大学出版社)
- (9) 「『日本書紀』与漢文仏經文体的比較研究」
(黃美華・馬駿、『外国語言文化研究』、2011年12月、中国伝媒大学出版社)
- (10) 「『日本書紀』の文体と漢訳仏典——話し言葉としての句式を中心に」
(黃美華・馬駿、『第2回中日韓言語文化比較研究国際シンポジウム』、2012年5月日、延边大学出版社)

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）

一 独著

- (1) 『日本上代文学＜和習＞問題研究』
(馬駿、国家哲学社会科学成果文庫、北京大学出版社、2012年3月)

二 合著

- (2) 『簡明日漢詞典』（修訂版）
(馬駿他、商務印書館、2012年8月)

三 合訳

- (3) 『明鏡日漢詞典』（北原保雄編）
(馬駿他、高等教育出版社、2012年3月)